

みを検証

年度決算

総務

南部工業団地造成事業

3億
4,500万円

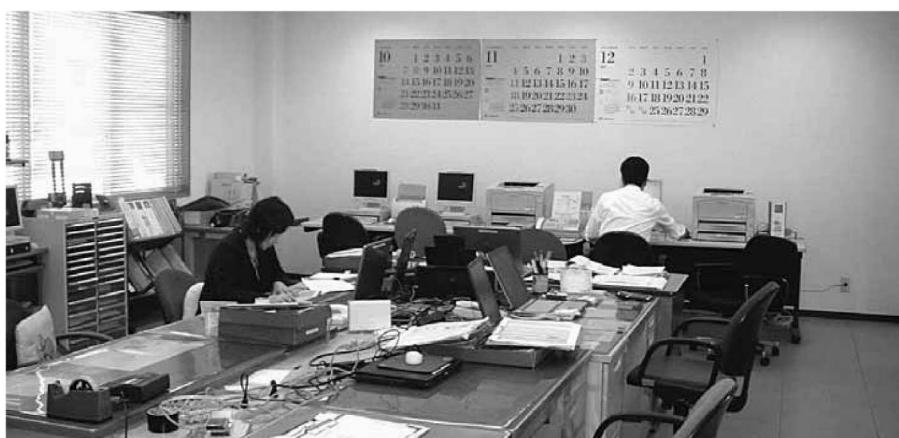


南部工業団地（右手前が(株)イズミ車体製作所）

南部工業団地が完売し、(株)イズミ車体製作所・(株)マルマエ・(株)アムド・(株)ネクストラインの4社が進出した。周辺道路は防犯灯も完成し地域住民の散歩コースにもなっている。

総合行政システム事業

7,100万円



企画政策課 情報計画係

コンピューターを中心とした総合行政システムが急ピッチで進むなか、総合行政システム及びパソコン等の適正な運用・維持管理、文書管理システムの導入を行った。

消防施設整備事業

3,100万円



消防ポンプ車

地域消防の強化が求められる中、
年度は左記の事業を行った。

- 消防栓3基新設
- 防火水槽2基新設
- 小型動力ポンプ1台更新
- 積載車2台更新
- 簡易子局1局新設
- 防災無線子局1台新設

経済建設

町の取組

平成 18



肥後大津駅南

健全な市街地形成と良好な住宅の供給を目的とした当地区は、現在、大型店舗並びに各種店舗、ホテル、アパート等の建築が進み、町の市街地を形成する中心的役割を担っている。地区内のかぶとむし公園は、町内全域から若い親子の公園デビューの場ともなっている。

昭和55年より平成19年1月の登記完了まで延べ27年間をかけて実施。15haの土地に約19億4300万円で都市基盤の整備を行った。

**都市機能を完備した町か
土地区画整理完了**

**水路は環境に配慮した整備を図れ
水を守り親しむ**



整備した町地区的水路

農村整備事業で町地区的用排水路416mを2877万円で整備。環境ブロックを取り入れメダカが住みついている。階段があり子どもたちが遊び場にもなっている。今後も、環境に配慮した水路整備をしてもらいたい。

つつじの苗を毎年、3千株程度自治会などの団体に無料で配布し、道路沿線、公園等の公共施設に植栽。日本一のつつじの里ともなっている。

つつじの花は日本一か

日本一のつつじの里

他の花苗についても町が費用の半分を負担、団体が残り半分を負担して、春と秋に5千株ずつ苗を配布し植栽する。やすらぎとおもてなしの場としてのイメージアップを図る。(目標50万本)。

大津町が管理している山林(町有林486ha、広葉樹100ha、環境の森90ha)を下刈・間伐・枝打等適正な管理を行う。地球温暖化が叫ばれる中で森林の果たす役割は重要である。

森林公園を中心とした浴や作業体験の場を提供し、レクレーション、保養の場として、多くの人に来てもらうため、より一層の適切な維持管理に努める。

伐採後の植林は万全か

森林整備



下刈 高尾野森林公园

平成18年度決算審査



紙の出来る木を栽培

町の伝統工芸 梅の造花

蓬脱木（つうだつぼく）の栽培

梅の造花の花びらに使用する蓬草紙は特殊なもので、台湾から購入しているが仕入れがむずかしくなり、3年前からスボーツの森の一角で、この紙の原木である蓬脱木の栽培に町と梅の花保存会が取り組んでいる。町の伝統工芸として末長く受け継がれる様に、安価で安心な材料の確保を期待している。



新設の桜丘団地集会所

地域ふれあい施設

桜丘団地集会所新設

地域住民の積立金と町の地域生涯学習施設等補助金により、桜丘団地自治集会所が完成し、地域の活力ある行事運営が出来る様になった。長年の住民の希望で、用地購入から始まり、木造・平屋建・約176m²で、エアコン一式他、備品も揃っている。総事業費約2060万円、うち町補助金750万円。

文教厚生

**健康福祉課
老人ホーム関係**

A 郷土料理や熊本独特の料理の献立に活用し、いる。

1ヶ月に7日程度使って

Q 今後、一人一部屋の推進を図るのか。
A 昨年の末頃から入所者が減少しており、現在39人であり、現在の施設の今まで一人一部屋の推進が可能と思われる。

Q 地産地消について消費する給食センターとしてはどの様に考えているか。



学校給食センター現地調査

**教育委員会事務局
生涯学習室関係**

Q 梅の造花伝統工芸の保存活動は、町が主体で行うべきではないか。
A 役場内部でも内容をとも充分検討し、相談しながら進めていきたい。



Q 人間ドックの受診者は毎年増えているのか。
A 平成17年度が690人で平成18年度が747人と増加している。

Q 食の自立支援事業を行っているが状況は。
A 社会福祉協議会が行つており、社協職員やボランティアが配食している。配食時に相談や安置確認等も行つてている。

介護保険

Q 人間ドックの受診者は毎年増えているのか。
A 平成17年度が690人で平成18年度が747人と増加している。

Q 食の自立支援事業を行っているが状況は。
A 社会福祉協議会が行つており、社協職員やボランティアが配食している。配食時に相談や安置確認等も行つていている。

Q 人間ドックの受診者は毎年増えているのか。
A 平成17年度が690人で平成18年度が747人と増加している。

補正予算・条例等を審議

文教厚生



総合体育館北側駐車場舗装予定地

一般会計

- Q** 総合体育館北側の舗装は、全体面積のどれ位になるのか。
- A** 北側駐車場の台数は全部で230台程度が可能で、今回は約1／3程度になる。
- Q** 学校の遊具の管理・点検はどうしているのか。

A 安全点検については専門の業者に委託している。

条例改正

「若草児童学園条例」

- Q** 若草児童学園の指定管理後のサービスの向上をを目指すとはどの様なこ

A 現在の学園の良い部分の仕様書の明示・個別の支援計画などの引継書の作成・移行後の第三者評価の実施など、サービスが低下することなく、また民間のノウハウを活かしたサービスの導入などにより、園児たちの福祉の向上のための管理運営ができるものと考えて

経済建設

一般会計

- Q** 耕作調整はどういうことか。農家を回つてお願いするのか。
- A** 遊休農地の解消に向け農業委員や集落営農推進員が調査し耕作の推進

活動を行うものだ。
Q 新規就農予定の人は将来農業をされるのか。

- A** 野菜農家を目指すこと。

Q 太陽光発電の助成は23年迄の4年間で普及率3%は5%～10%と引き上げていくべきだ。

- A** 年数は検討する。
Q リサイクルすれば、経費削減になつたのか。

A 再生資源の集団回収をすれば450万円の支出で5千万円の美化センター処理費が削減された。

- Q** 竜門ダムの水は何人が利用しているか。

A 旧13市町村の全体で4678人で本町では12人です。
Q 「菊池環境保全組合規約の一部変更」

条例改正

A 現在の学園の良い部分の仕様書の明示・個別の支援計画などの引継書の作成・移行後の第三者評価の実施など、サービスが低下することなく、また民間のノウハウを活かしたサービスの導入などにより、園児たちの福祉の向上のための管理運営ができるものと考えている。

総務

防災行政無線調査設計業務委託

234万円



防災行政無線設備

- Q** どうしてデジタル化するのか。

A 現在の機器が老朽化し、更にアナログに比べてデジタルは電波の幅が狭く効率的に使用できるため。

- Q** 今回の調査は何をするのか。
- A** 電波の受信感度を調べる。

庁舎東側外壁修理

115万円



外壁タイル破損

- Q** 修理個所はどこか。
- A** 東側増築部分のタイル壁を修理する。